



2010年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション  
代 表 者 取締役社長 依田 誠  
(コード番号 6674 東証第一部・大証第一部)  
問合せ先 取締役 コーポレート室長 中川 敏幸  
(TEL. 075-312-1211)

## 第二次中期経営計画（2010～2012年度）見直しのお知らせ ～環境対応型社会に貢献するグローバル企業を目指して～

当社グループは、2009年5月14日に公表いたしました2010年度を初年度とする第二次中期経営計画に着手しておりますが、このたび下記の通り見直しを行いましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 計画見直しの背景と理由

当社グループが第二次中期経営計画を策定した2009年初頭は、世界同時不況の影響がまだ色濃く残る時期でした。当社グループとしても来たる3ヵ年間に市場が順調に拡大すると予測できる状況ではなく、2009年度を第二次中期経営計画への橋渡し期間とするブリッジ・プラン2009を策定、その上で2010年度を初年度とする3ヵ年の中期経営計画を策定・公表をいたしました。

しかしながら、2009年度上期からアジアを中心に海外事業がいち早く回復、下期には国内の自動車電池、産業電池および電源装置の市場も順調に回復し、2009年度に第二次中期経営計画初年度である2010年度目標としていた利益額を達成することができました。

今期2010年度に入っても、国内外の既存事業における業績は順調に推移しており、当社が取り組んできた収益強化対策が着実に成果を上げつつあるものと考えております。

一方、次世代の基幹事業として育成に取り組んでおりますリチウムイオン電池は、環境対応型社会への社会的ニーズが高まっており、当初想定を超える市場拡大が期待され、さらなる生産体制拡大に向けた取り組みを加速させております。

このように事業状況に変化が生じているため、事業ごとに事業環境および計画の総点検を行った結果、売上高は急激な円高などの影響により減少いたしますが、利益については税金等調整前純利益（税前利益）に変更し、当初目標を上回る計画へ修正いたします。

なお、経営方針および重要戦略課題に変更はなく、引き続き全社一丸となって経営目標達成を目指してまいります。

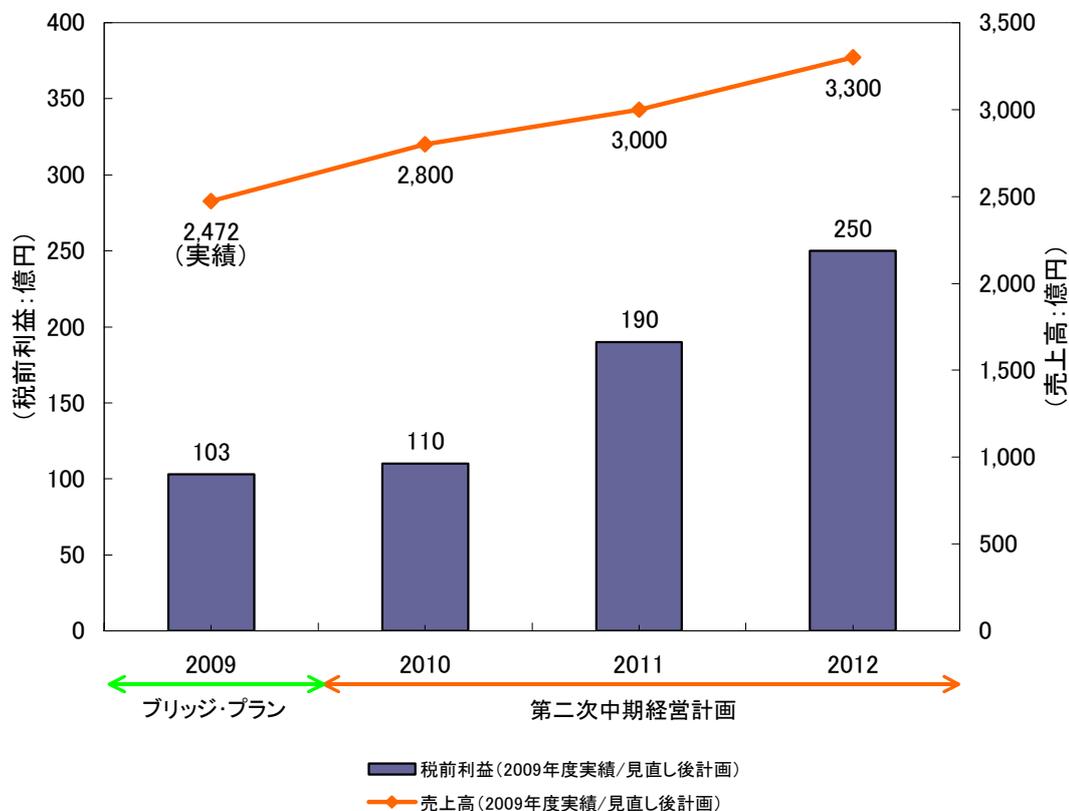
#### 2. 経営目標（最終年度2012年度目標値）

	見直し後経営目標
売 上 高	3,300億円
税 前 利 益	250億円 (7.6%)
ROE (株主資本利益率)	12%以上
営業キャッシュフロー	250億円以上

以上

## 第二次中期経営計画見直しの概要

### 1. 見直し後の経営目標



### 2. 見直し後のセグメント別目標

(単位: 億円)

		報告セグメント				その他	連結
		自動車電池	産業電池電源装置	海外	小計		
2010年度業績予想	売上高	600	700	1,170	2,470	330	2,800
	セグメント利益	35	90	80	205	△ 55	150
2011年度中期計画	売上高	550	730	1,280	2,560	440	3,000
	セグメント利益	35	100	90	225	△ 35	190
2012年度中期計画	売上高	550	730	1,400	2,680	620	3,300
	セグメント利益	40	115	110	265	△ 15	250

### (参考) 当初の経営目標

(単位: 億円)

	ブリッジ・プラン	第二次中期経営計画		
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
売上高	2,400	3,000	3,200	3,500
営業利益	70	110	155	200